

Q 保健所って
どんなところ

保健所は地域における公衆衛生の専門機関として、感染症対策、母子保健の向上、栄養改善、廃棄物や飲料水対策など、地域の保健・医療・環境行政を担っています。



全国保健所長会は、保健所が相互連携することにより、わが国の公衆衛生の向上に努め、国民の健康の保持・増進を図ることを目的として活動しています。

全国保健所長会長 山中朋子(青森県弘前保健所)
代理 中里栄介(佐賀県鳥栖保健所)

保健所のAMR対策と全国保健所長会による支援活動

感染症法、医療法に基づく保健所の活動

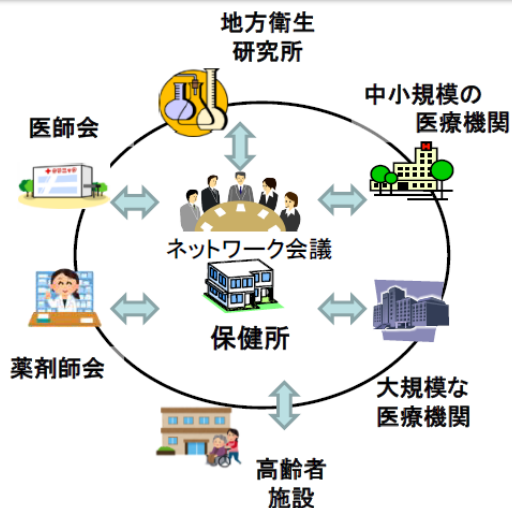
◎ 平時の感染症対策

- 国民へ
 - － 手洗い、咳エチケット
 - － 抗微生物剤適正使用
- 医療機関へ
 - － 院内感染対策の向上

◎ 耐性菌感染症発生時の対応

- 感染症法に基づく対応
- 医療法 (院内感染対策通知) に基づくアウトブレイクの対応

地域感染症対策ネットワーク (仮称)



(課題) 特に医療機関等での耐性菌感染症の対応には、専門的な知識や技術が必要で、地域感染症対策ネットワーク等の専門家の協力が必要

全国保健所長会の取り組み

地域保健総合推進事業 全国保健所長会協力事業
「薬剤耐性 (AMR) 対策等推進事業」
による保健所支援活動

- ・医療機関のICD, ICN
- ・国立感染症研究所
- ・AMR臨床リファレンスセンター
- ・地方衛生研究所等による支援

保健所・医療機関の資質向上のための支援

AMR対策公衆衛生セミナー（H29年度1か所，H30年度5か所）

- ・AMR臨床リファレンスセンターとの共催
- ・保健所・地方衛生研究所等の行政職員を対象
- ICN等医療機関スタッフと行政職員による合同グループワークも実施

内容

- ・講義
 - AMR対策
 - 行政対応
- ・合同グループワーク



保健所の薬剤耐性菌感染症発生時の対応を支援

• 相談受付事業

- AMR対策, 院内感染対策等への保健所からの質問に, 事業班でアドバイスを行う。
- 事業班は保健所メンバー8名と専門家メンバー9名の両方で構成
- 相談内容は, Question & Advice として, 事業班報告書に掲載(相談者が特定されない形で)

• アウトブレイク対応支援事業

- アウトブレイク対応を行う保健所を感染管理の専門家が出向いて支援する事業
- 全国33名の感染管理専門家が協力
- 地域に相談する専門家がない場合の利用を想定

- ネットワーク構築の手引き書を作成（平成29年度）
 - 感染管理専門家33名へのアンケート（H29年実施）で、保健所には中小病院支援とネットワーク支援を期待する意見が出された。
 - 保健所が主体となって中小病院の感染症対策に取り組むためのネットワーク構築の手引き書
 - 取り組みを5つのステップに分けて具体的な動きを示す。



- 保健所による地域感染症対策ネットワーク構築の推進
 - 平成30年度 地域保健総合推進事業 「保健所連携推進会議」 全国8ブロック中4ブロックで、薬剤耐性（AMR）対策等推進事業班による講演を実施